

令和6年度後期 第75期生徒会スローガン

一流

<令和6年度後期 第74期生徒会 活動反省 >

第75期後期生徒会は、「一流」をスローガンに掲げてきました。

課題であった「自分の力を信じ切れずに人を頼ってしまう」ことの改善に向けて、さまざまな活動に取り組みました。代議員会の実施により以前よりも生徒同士の連携がみられるようになり、自分たちで考え主体的に動くことが少しずつできるようになってきていると思います。これは皆さん一人ひとりが、自分も松尾中生の一人であるという自覚をもちはじめていることの表れと考えます。次年度も引き続き、松中生の一員であるという自覚をもち、生徒会全体で連携しながらさらなる高みを目指していきましょう。

<活動方針・活動重点項目と具体的取り組み内容について>

● 学習担当

活動方針：「日常的に学習する習慣を身につけた松中生を目指す」

活動反省：令和6年度後期では、松尾争試を実施することができました。月一で行うことで日常とまではいかずとも、前期よりも勉強に取り組む習慣が身についてきたと思います。次年度も松尾争試だけでなく、オール5運動などに力を入れ試験のためだけに限らない日常的に勉強できる一流の松中生を目指していきましょう。

● 委員会担当

活動方針：「委員会との連携の強化&自立した委員会活動」

活動反省：令和6年度後期では代議員会を実施することができ、これまで以上に委員長との連携を取りながら委員会活動に取り組むことができました。また、代議員会を生活の中に位置付けることはできましたが、話し合いの中での意見の内容や量に課題があると考えます。各学級委員長との連携をとり、生徒自身の意見や思いが代議員会で出るような工夫をしていきます。

● 合唱担当

活動方針：「1・合唱文化をのばす 2・合唱に対する一人ひとりの意識を高くする

3・誰もが楽しく歌える活動にする」

活動反省：合唱文化を伸ばしたり、合唱に対する意識を高めたりすることに関してはまだまだ課題があると考えます。合唱担当としての指示の出し方や空気づくりを次年度では改善し、全校で取り組んでいきます。また、より合唱を楽しみながら取り組めるように工夫していきます。全校の皆さんも一緒によりよい松中の合唱文化に向けて頑張りましょう。

● 生活・ボランティア担当

活動方針：「一人一人の視野を広げ、互いに思いやりがもてるような活動」

活動反省：後期では全校で取り組む挨拶運動などはできませんでしたが、次の学年への気持ちをつくりそれに合わせた生活態度ができていました。また、ボランティア活動においては、花壇ボランティアを全校有志で行い地域にもボランティアを広げ、自分の地域にも目を向けることができたと思います。これからもボランティアを通して思いやりの輪を広げましょう。

● 部活動担当

活動方針：「一分一秒を無駄にしない部活動」

活動反省：後期の活動では合同トレーニングを行うことができました。全員参加はかないませんでした。楽しく進んでトレーニングを行うことができました。しかし、合トレ以外に新しい活動ができなかった。次年度は朝活などにも力を入れていきたいと思っています。特に、「一分一秒を無駄にしない部活動」にするために部長会との連携や、見通しを持って活動していきたいと思っています。